

資料

【報告1】

平成27年度 高齢者虐待対応状況について

平成28年度 第3回大阪市地域包括支援センター運営協議会

平成28年11月

大阪市 福祉局 高齢福祉課

高齢者虐待対応状況

養護者による虐待について(平成27年度)

1 相談・通報・届出件数

保健福祉センター及び地域包括支援センターでの虐待通報等受理件数は、次のとおりとなっている。

平成27年度	保健福祉センター	地域包括支援センター	総合相談窓口	合計
相談・通報・届出 受理件数	366	426	22	814
うち虐待と判断した件数				343

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受理件数	416	491	461	534	729	752	1,038	839	814
虐待と判断した件数	297	355	340	376	430	431	485	397	343

世帯は1件でカウント

2 相談・通報者(重複あり)

相談・通報者としては、「介護支援専門員」が277件(32.3%)と最も多く、次に「警察」が268件(31.2%)となっている。

届出者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	246	247	271	353	318	378	293	277	32.3%
介護保険事業所職員					9	8	58	59	6.9%
医療機関従事者	30	25	22	39	35	45	46	58	6.8%
近隣住民・知人	20	28	30	37	44	54	52	34	4.0%
民生委員	9	6	8	15	6	16	16	13	1.5%
地域ネットワーク推進員	7	11	15	9					
被虐待者本人	48	41	46	44	63	48	51	47	5.5%
家族・親族	35	39	44	45	68	55	59	55	6.4%
虐待者自身	4	8	10	20	18	23	7	2	0.2%
当該市町村行政職員	31	18	22	23	43	166	47	19	2.2%
警察	53	50	84	116	117	218	218	268	31.2%
その他	16	12	16	18	23	22	34	23	2.7%
不明(匿名を含む)	2	1	1	1	9	5	3	3	0.3%

3 虐待の種類（重複あり）

虐待と判断した件数について虐待の種類をみると「身体的虐待」が211件(59.9%)と最も多く、以下「心理的虐待」121件(34.4%)、次いで「経済的虐待」87件(24.7%)となっている。

類型	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
身体的虐待	218	194	216	290	246	283	228	211	59.9%
性的虐待	0	3	1	5	5	1	2	0	0.0%
心理的虐待	92	110	138	144	165	181	157	121	34.4%
放棄、放置(ネグレクト)	74	82	76	84	100	109	93	69	19.6%
経済的虐待	113	93	112	129	110	157	89	87	24.7%
合計	497	482	543	652	626	731	569	488	

4 被虐待者の性別

「女性」が264人(75.0%)と男性に比べて多くなっている。

性別	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
男性	82	83	74	91	99	130	95	88	25.0%
女性	277	264	312	339	338	374	314	264	75.0%
合計	359	347	386	430	437	504	409	352	100.0%

5 被虐待者の年齢

年齢	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
65～69歳	34	41	39	42	42	66	51	25	7.1%
70～79歳	160	140	150	191	178	209	148	134	38.1%
80～89歳	138	138	161	160	167	179	167	150	42.6%
90歳以上	27	28	36	37	50	50	43	43	12.2%
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	359	347	386	430	437	504	409	352	100.0%

6 被虐待者の要介護度

介護度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
認定非該当(自立)	4	5	6	7	13	11	13	12	3.4%
要支援1	29	15	23	34	27	26	21	22	6.3%
要支援2	24	27	25	29	36	31	31	22	6.3%
要介護1	49	54	51	54	53	78	75	59	16.6%
要介護2	52	47	60	67	67	91	70	69	19.6%
要介護3	59	51	62	55	46	61	66	40	11.4%
要介護4	50	47	53	63	52	60	39	32	9.1%
要介護5	28	31	31	42	43	48	35	31	8.8%
未申請・申請中	62	69	75	79	100	97	59	65	18.5%
不明	2	1	0	0	0	1	0	0	0.0%
合計	359	347	386	430	437	504	409	352	100.0%

7 介護保険認定済みの者の認知症日常生活自立度()

	自立					M	あるが自立度不明	不明	合計
人数	43	47	106	59	17	3	0	0	275
割合	15.6%	17.1%	38.5%	21.5%	6.2%	1.1%	0.0%	0.0%	100.0%

「認知症日常生活自立度」…「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」の略。厚生労働省老健局老人保健課長通知に定められた基準。ランク（軽度）～（重度）、M（医療行為が必要）がある。

8 虐待者（重複あり）

虐待者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
夫	65	74	72	89	83	86	75	65	17.5%
妻	23	26	18	20	23	28	25	25	6.7%
息子	141	140	173	187	190	200	170	167	45.0%
娘	77	67	73	77	86	90	95	66	17.8%
息子の配偶者(嫁)	13	18	10	10	12	15	12	10	2.7%
娘の配偶者(婿)	5	4	4	9	5	6	8	1	0.3%
兄弟姉妹	9	10	7	15	7	16	10	4	1.1%
孫	14	11	19	17	14	14	12	11	3.0%
その他	25	20	13	31	35	72	29	22	5.9%
不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	372	371	389	455	455	527	436	371	

9 虐待への対応状況

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
虐待者との分離を行った事例								
契約による介護保険サービスの利用	47	53	60	59	63	52	82	64
やむを得ない事由等による措置(養護老人ホーム措置含む)	34	22	25	37	27	27	32	53
うち面会制限を行った事例	7	6	8	31		22	30	42
緊急一時保護事業等の活用	14	10	32	46	43	42	56	34
医療機関への入院	65	46	50	47	43	38	52	36
その他	29	34	29	41	25	37	39	37
合計	189	165	196	230	201	196	261	224
分離していない対応状況(重複あり)								
介護保険サービスの利用開始	20	22	21	18	41	48	39	19
うち、やむを得ない事由による措置	0	0	0	0				
ケアプランの見直し	63	55	63	45	76	89	130	95
介護保険以外のサービスや資源の活用	9	20	7	10	18	21	35	39
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	20	19	10	34	44	64	12	13
養護者に対する助言・指導	109	104	108	93	104	161	234	233
見守り(観察のみ)	45	47	74	39	28	29	21	14
その他	31	35	29	15	11	30	42	27
立入調査の実施	0	2	2	4	10	1	2	0

10 権利擁護に関する対応() 24年度調査以降に調査項目として追加されている

	24年度 件数	25年度 件数	26年度 件数	27年度 件数
成年後見制度利用開始済み	12	19	38	65
成年後見制度利用手続き中	42	47	48	31
のうち市長申立て	51	59	69	70
日常生活自立支援事業の利用	15	26	21	19
合計	69	92	107	115

養介護施設従事者等による虐待について(平成27年度)

平成27年4月1日～平成28年3月31日の間に新たに受理した事例

1 相談・通報・届出件数

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受理件数	15	22	23	29	33	45	61	56	98
虐待と判断した件数	3	4	4	5	6	2	10	7	19

2 相談・通報者(重複あり)

相談・通報者としては、「家族・親族」が26件(26.3%)と最も多く、次に「当該施設・事業所職員」が18件(18.2%)となっている。

届出者	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
								件数	割合
本人による届出	2	2	0	1	2	2	1	3	3.0%
家族・親族	7	8	8	6	11	13	11	26	26.3%
当該施設・事業所職員	8	6	8	8	13	18	12	18	18.2%
当該施設・事業所元職員	3	2	2	5	8	11	7	12	12.1%
医療機関従事者	0	0	0	0	0	1	5	3	3.0%
介護支援専門員	0	0	0	0	0	1	2	5	5.1%
国民健康保険団体連合会	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
都道府県から連絡	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
警察	0	0	0	0	0	2	1	1	1.0%
その他	6	8	11	13	11	10	10	31	31.3%
不明(匿名を含む)	0	0	0	0	0	7	7	0	0.0%
合計	26	26	29	33	45	65	56	99	

3 虐待の類型(重複あり)

届出者	件数	割合(%)
身体的虐待	31	70.5%
性的虐待	0	0.0%
心理的虐待	4	9.1%
放棄、放置(ネグレクト)	3	6.8%
経済的虐待	7	15.9%
合計	45	

4 事実確認状況()

年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
事実確認調査を行った事例								
虐待の事実が認められた事例	4	4	5	6	2	10	7	19
虐待の事実が認められなかった事例	9	13	15	22	23	52	52	67
虐待の事実の判断に至らなかった(調査中)事例	1	0	0	1	5	4	3	7
合計	14	17	20	29	30	66	62	93
事実確認調査を行っていない事例								
虐待ではなく調査不要と判断	3	3	2	7	2	2	0	0
調査の実施を予定または検討中	3	3	6	0	10	7	0	0
都道府県へ調査を依頼	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	2	2	1	3	1	5	5
合計	8	8	10	8	15	10	5	5

前年度に受理し、当該年度に事実確認調査を行った事案を含む

5 虐待があった施設・事業所の種別()

種別	24年度	25年度	26年度	27年度
特別養護老人ホーム	0	1	2	5
介護老人保健施設	0	1	0	3
介護療養型医療施設	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護	1	3	1	1
有料老人ホーム	1	1	0	1
小規模多機能型居宅介護等	0	0	0	0
軽費老人ホーム	0	0	0	0
養護老人ホーム	0	0	0	0
短期入所施設	0	0	1	1
訪問介護等	0	0	0	5
通所介護等	0	0	0	1
特定施設入居者生活介護	0	3	1	0
居宅介護支援等	0	0	0	2
その他	0	1	2	0
合計	2	10	7	19

前年度に受理し、当該年度に事実確認調査を行った事案を含む。

平成23年度までは、事実確認を行った施設種別の調査であった。

高齢者虐待対応状況

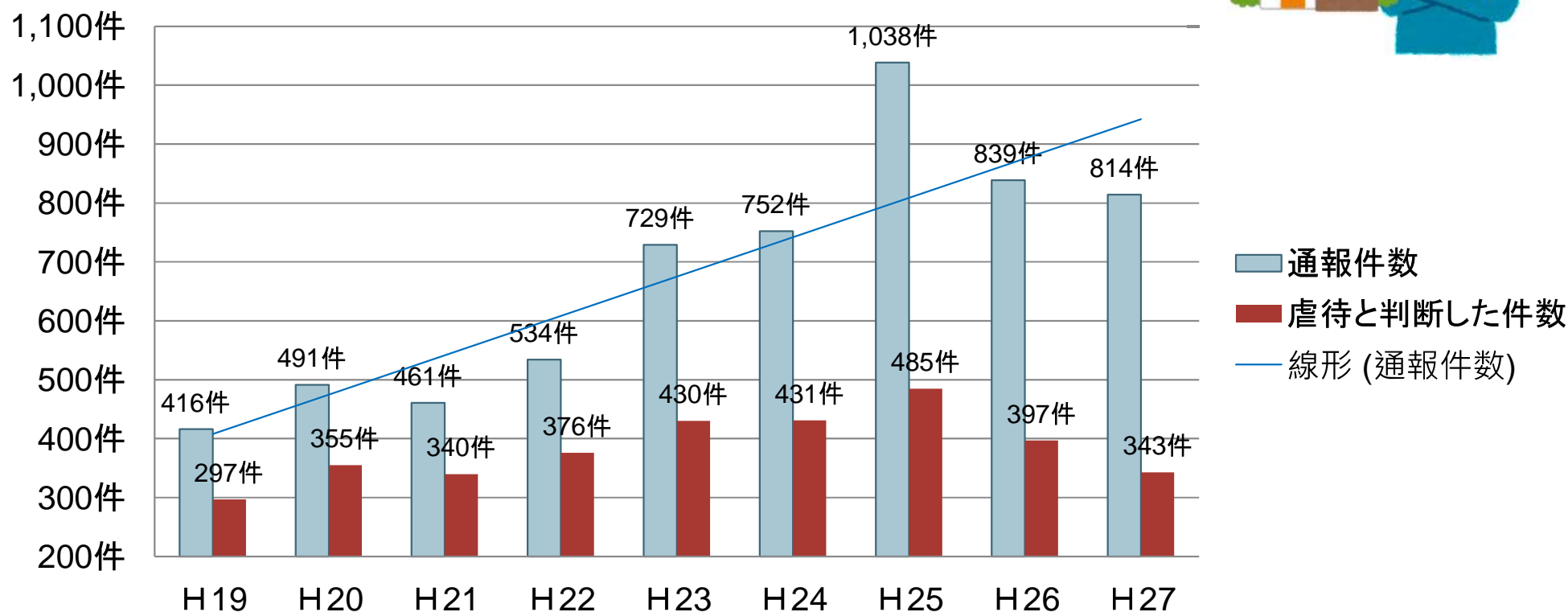
- 高齢者虐待防止法は平成18年4月に施行されてから約10年半がたちました。
- ここでは、平成27年度の本市の高齢者虐待対応状況について、
 - (1)養護者による虐待
 - (2)養介護施設従事者等による虐待の順に、ご報告させていただきます。

高齢者虐待対応状況

(1) 養護者による虐待



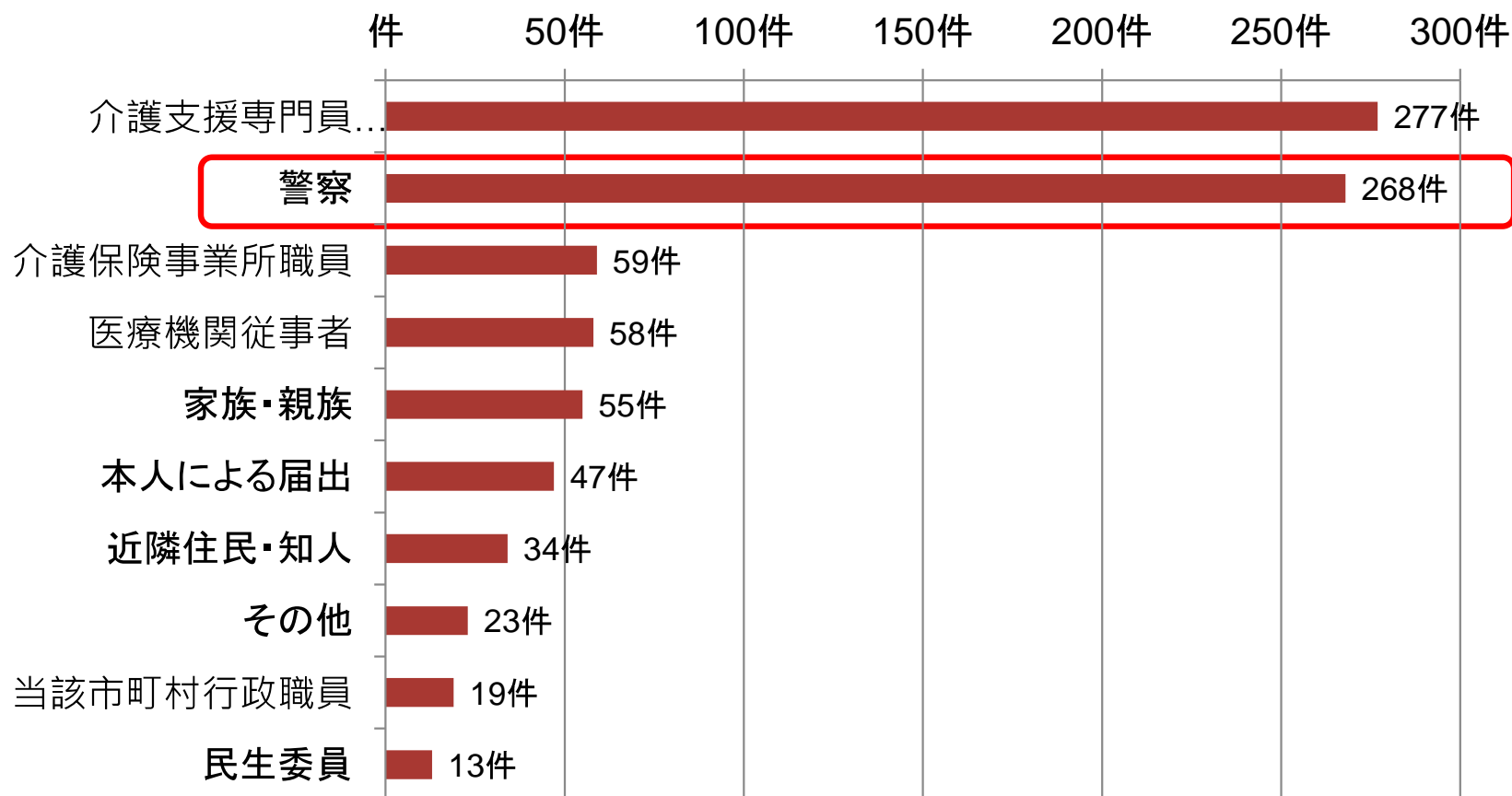
相談・通報・届出件数



平成27年度の養護者による高齢者虐待の相談・通報・届出件数は814件であった。このうち、虐待と判断した件数は4件（42.1%）であった。

高齢者虐待対応状況 (1) 養護者による虐待

主な相談・通報者等

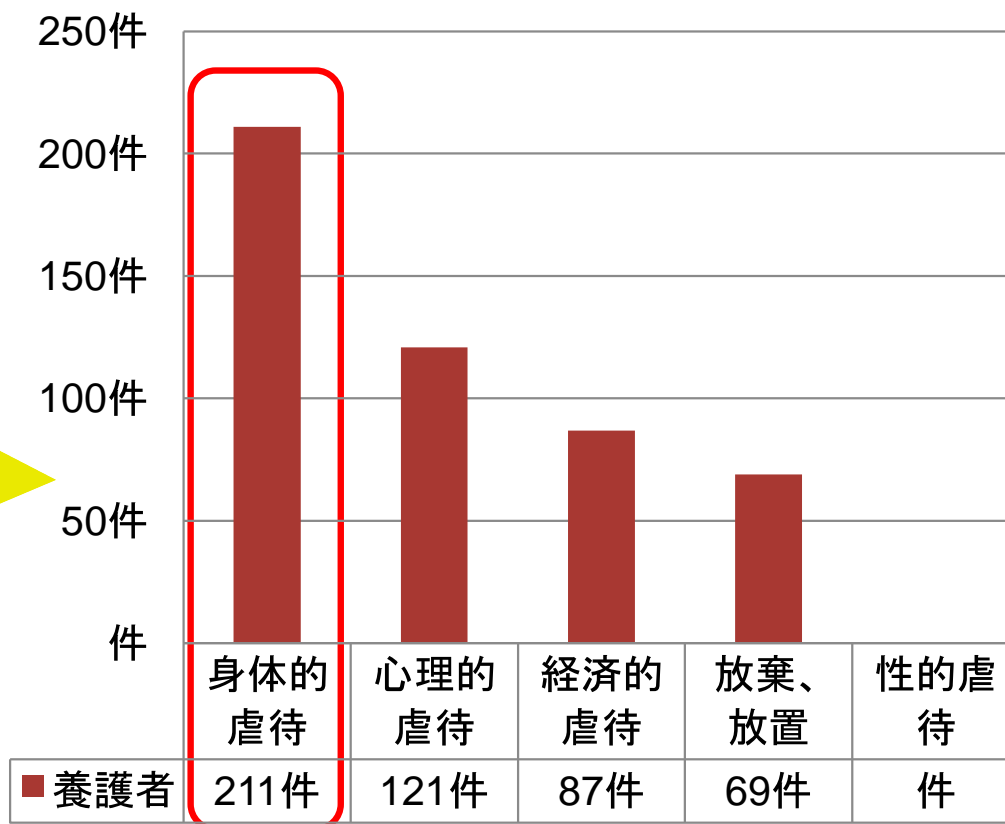


平成27年度大阪市の養護者による虐待の相談・通報・届出者の割合は、「介護支援専門員」が277件（27.2%）、「警察」が268件（26.2%）となっている。

高齢者虐待対応状況 (1) 養護者による虐待



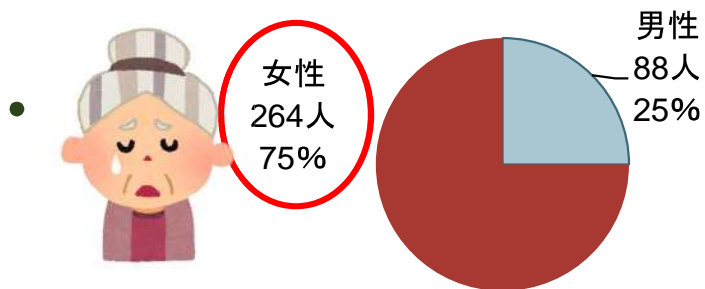
虐待類型 件数 (重複あり)



平成27年度の養護者による虐待の虐待類型別割合は、「身体的虐待」が211件（44%）と最も多く、次に「心理的虐待」が121件（29%）次いで「経済的虐待」87件（21%）となっている。

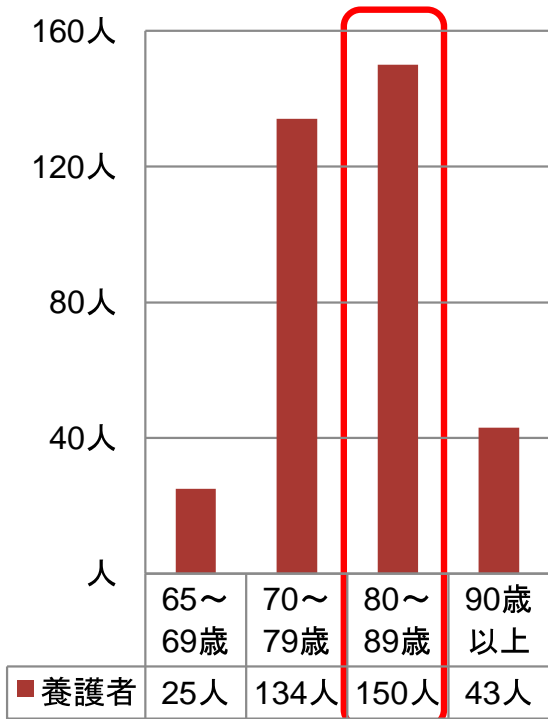
高齢者虐待対応状況 (1) 養護者による虐待

被虐待者の性別

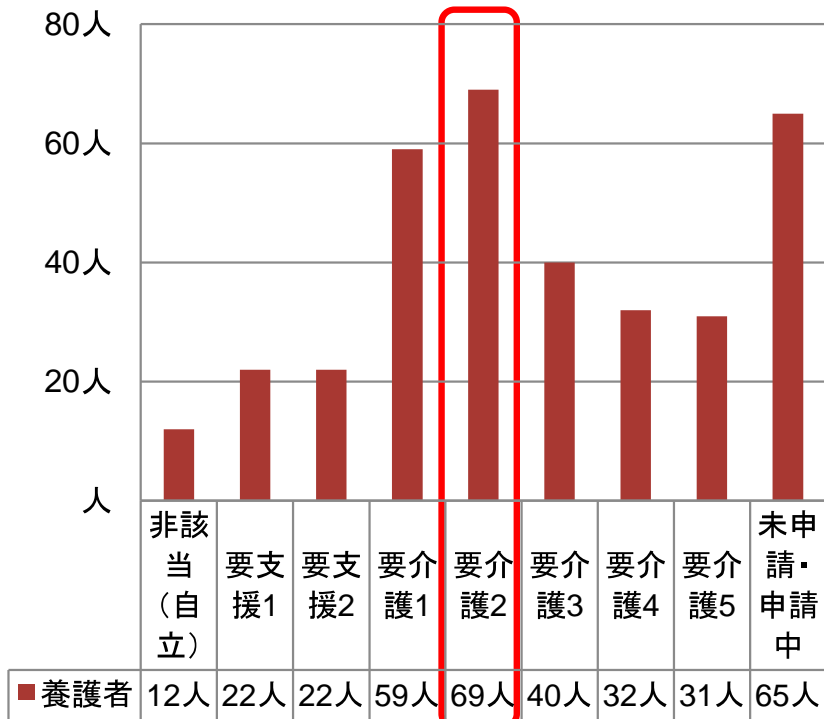


**女性
年齢が高いほど
介護度が上がるほど
認知症日常生活自立度Ⅱ以上**

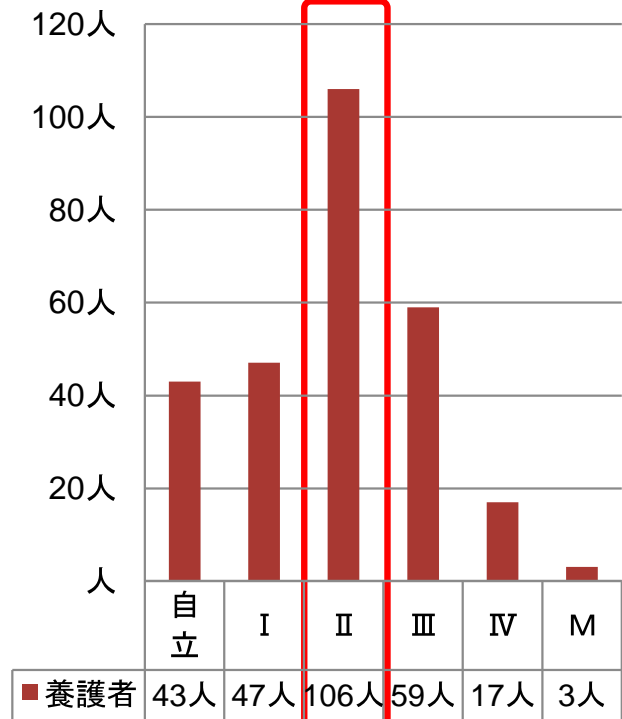
被虐待者の年齢



被虐待者の要介護度



認知症日常生活自立度

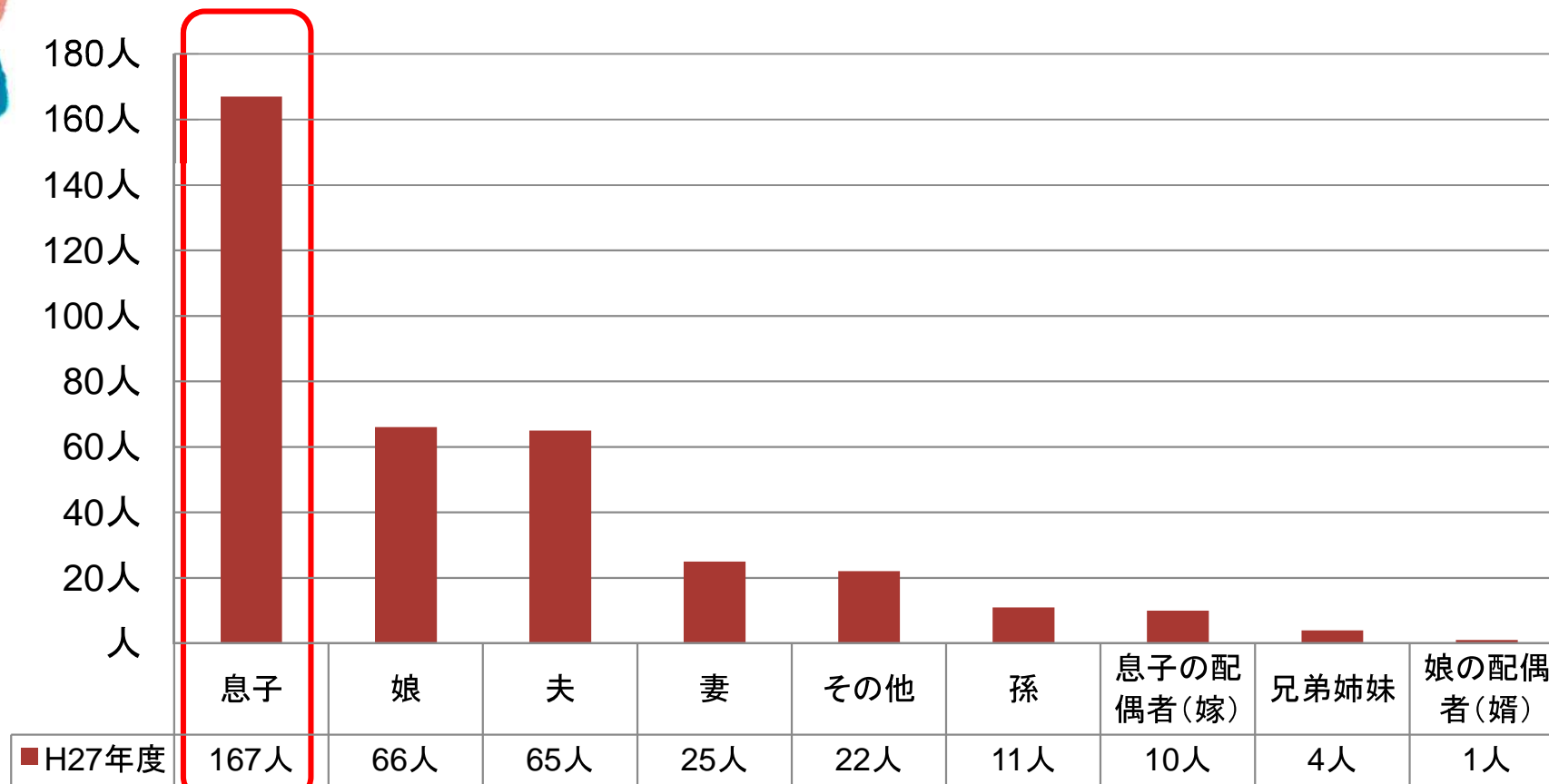


高齢者虐待対応状況 (1) 養護者による虐待



息子が多い

虐待者の状況(重複あり)



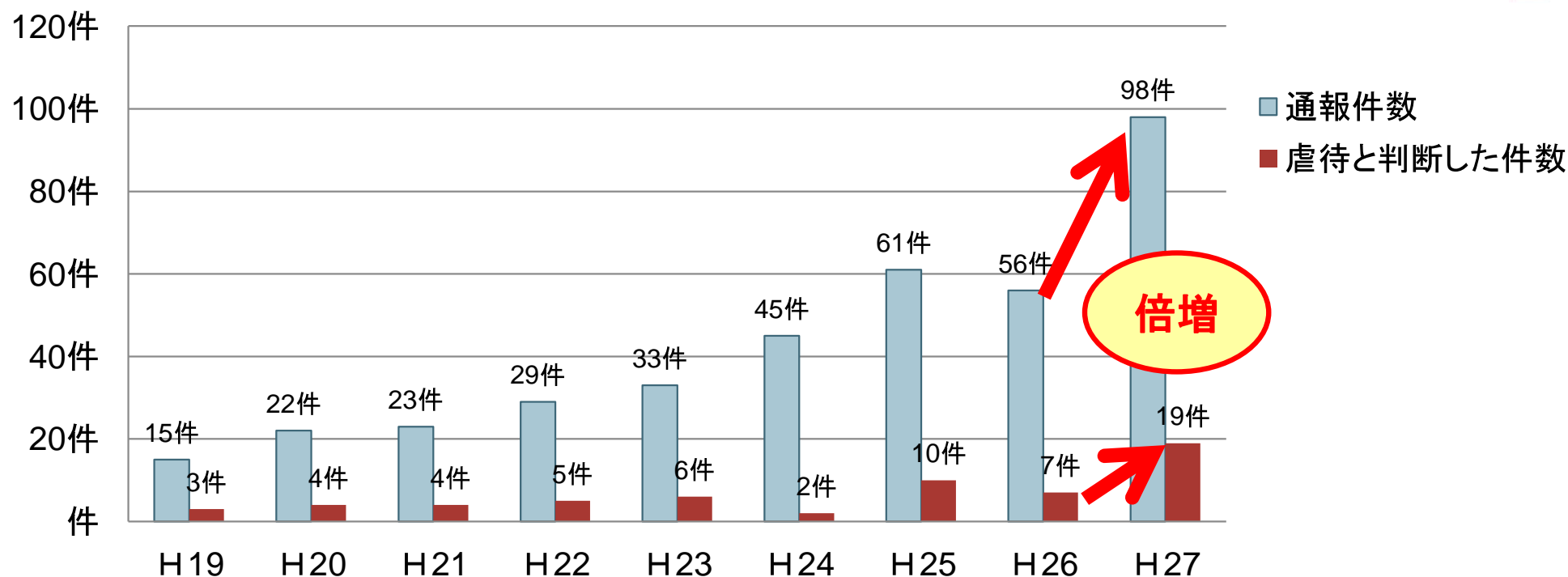
平成27年度の養護者による虐待の、虐待者の状況は、「息子」が167人（41.7%）と最も多く、次に「娘」が66人（17.8%）、「夫」が65人（17.1%）となっている。

高齢者虐待対応状況

(2) 養介護施設従事者等による虐待

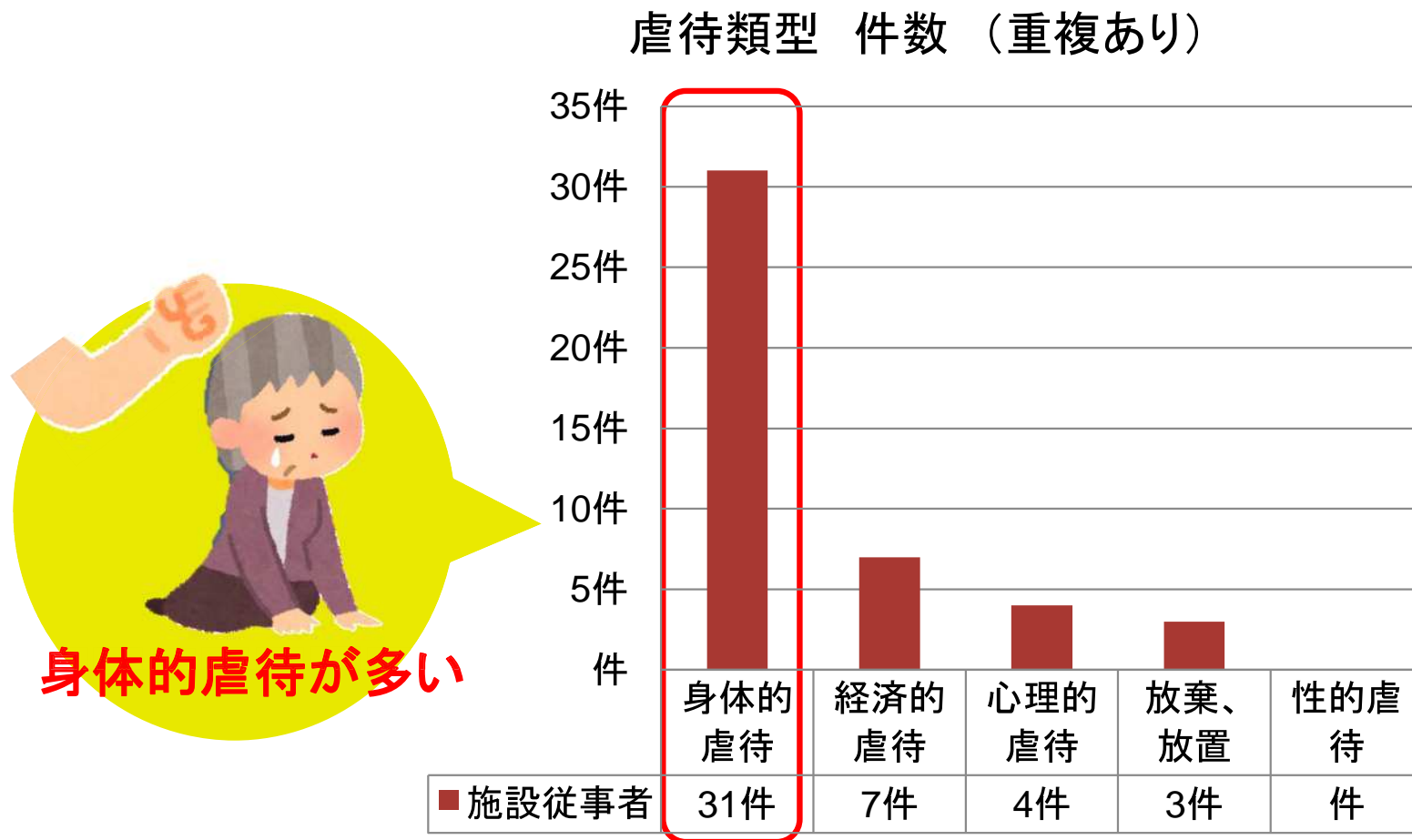


相談・通報・届出件数



平成27年度の従事者による高齢者虐待の相談・通報・届出件数は 8件であった。このうち、虐待と判断した件数は1件（12.5%）であった。

高齢者虐待対応状況 (2) 養介護施設従事者等による虐待



平成27年度の従事者による虐待の虐待類型別割合は、「身体的虐待」が1件（70%）と最も多くなっている。